

## 第 1 回小牧市放課後子ども総合プラン導入検討委員会 報告

## 1. 日時

令和 2 年 6 月 3 日（水）午前 10 時から

## 2. 議題

## (1) モデル事業の実施について

- ① 合同の体験活動に係る子どもからの 1 つの意見として、特別なイベントはたまにあればすごく嬉しいし、映画鑑賞やクッキングは楽しいと思う。でも、一番やりたいのはグラウンドを全面使って友達と遊びたいというものがあった。おとなはこどものためにあれこれ活動内容を考えるが、実はこどもが求めていることは意外とシンプルかもしれない。
- ② 児童館では、地域の方にコンサートを依頼している。こどもが自分の住んでいる街、地元を知ることにつながっていると思う。
- ③ 地域の資源は実はたくさんあるのにあまり使われていない。放課後子ども総合プランを実施するにあたっては、自分たち従事者で企画から全部を行うのではなく、地域の方に 1 時間何かをお願いすることもできると思う。モデル地区 1 つでうまくできれば、他の地区もまねることができると思う。
- ④ 現在の放課後子ども教室の利用者に、例えばお迎えのときに少しでも早くきて一緒に活動しましょうと声掛けしても、遠慮しているのか、多忙なのか、ほとんど参加される方はいない。
- ⑤ 合同の体験活動は、コンサートや読み聞かせなど、こどもの人数が多くても大丈夫なものから始めていきたい。
- ⑥ 頻繁に合同の体験活動を行っている他の自治体の事例を参考にしたい。
- ⑦ 例えば定員の都合等で活動に参加できなかったこどもが、参加できたこどもが工作活動で作ったものを見てうらやましいと思うことはあると思うが、その気持ちは次につながる、自分がおとなになったときに、その体験が生きてきて、何かにつながるという考え方もあると思う。公平性が保たれないため全員参加できないものは非とするのか、やれない子にフォローしながら工夫して一部でも行うのか、今後検討を進める中で必要な観点の 1 つだと思う。